

お客様紹介

平田本陣記念館 様

〒691-0001 島根県平田市平田町515  
TEL 0853-62-5090  
FAX 0853-62-5101  
http://www9.ocn.ne.jp/kyuhon



写真中央が御成門で、当時のものが移設されています。

平田本陣

当館は平田町本町にあった本木佐家の旧宅（旧本陣）を移築し、平成元年10月にオープンしました。移築されたのは、上の間、次の間、御成門、それに続く庭園と枯山水の庭園です。入り口を入ると、柱や梁は、釘を使わない当時の工法で組まれ、その材の太さ、高い天井に当時の繁栄ぶりを見ることが出来ます。旧本陣は、享保20年（1735年）に建築され、松江藩の本陣宿で、酒造業や木綿販売などで財をなした本木佐家の豪商屋敷です。

当館の役割は、①昔の本陣宿を後世に伝えること。展示室を併設し、美術品を展示して、文化発展に寄与しています。②1年間のサイクルでジャンルを絞って、企画展示をすること。主に4ジャンル。夏休み時期に子供向きの企画。秋には、全国的に著名な作家の展示。冬には、館蔵品の展示。その他、大衆文化ものの展示というように系統だっています。



一式飾り。一式飾りには、陶器・茶器・仏具など、それぞれ一式の用品を、由に使い分け、歴史上の人物などに飾り上げる平田独特の芸術です。



長谷川義史 絵本原画展

平田町は昔から児童文学に対して造詣が深く、熱心な絵本のファンが多数いらっしゃる土地柄です。

現在、長谷川義史という、絶大な人気を誇る絵本作家の原画展が9月2日まで開催されています。大阪弁を使った軽妙な語り、ユーモアとほ

んわか優しい気持ちになれる、新しいジャンルの絵本です。作者は父親を幼少期に亡くしており、その思い出を書いたものや、命の尊さ、親の子への愛情、家族のつながりといったところにしみる絵本を書いています。

記念館の山田学芸員の話。「出雲地方独特の文化をもった本陣宿であった記念館と、現在に伝わっている館蔵品を様々なテーマで紹介していきますので、ぜひお気軽にご来館ください。また、様々なジャンルの企画展も行っていますので、展示をご覧になって新鮮な気持ちになっていただきたり、多角的に物事を考えたりするきっかけになればとも思います。絵本原画展は20年前から毎年開催しています。現在は、今とっても旬な作家、長谷川義史さんの作品展を開催しています。オリジナルな感性、ちょっと切ないところもあるけれど、たくましく、ほほえましく、たのしいキャラクターたちがいっぱい、とても癒される展覧会です。どうぞご家族でご覧下さい。」

当館には、灯油地下タンク設備があり、空調設備に使用されています。展示室の温度・湿度調整を行い、展示物の維持管理を行なっておられます。「毎年、灯油地下タンク設備の点検をしていただいているので安心して作品管理ができます。とても感謝しています。」とのお話でした。

(聞き手長野)



館内には、ゆったりと絵本を読んだり、ロゴをみる部屋もあり、作品鑑賞も余韻を楽しめることが出来ます。

当館のご厚意で長谷川義史原画展の入場券(ペア)を3名様に、さらに絵本を1冊ずつ付けて6Pのクイズの賞品としてプレゼントいたします。絵本の選択は編集部にお任せください。



「フシの自覚」

松下幸之助の著書「道をひらく」の一節に「フシの自覚」がある。

人の一生にはいろいろなことがあり、平穩無事な一生などない。次々に起こるできごとを「フシ」とすれば、その「フシ」を見過ごさずに認識して自覚し、思いを新たにすることである、と書かれている。

「フシ」とは、これから進んで行く分かれ道であり、一つのポイントだと思う。

人生、仕事、一年、一日の中にも様々なフシがあり、このフシを見分け、何をすべきか、どちらへ進むべきか考えて決めなければならない。

その時自らが発した言葉や行動が、後々になって結果として表れる。良い結果もあればそうでない結果もある。しかし全ての結果は自らがまいた種が原因である。誰の責任でもない、自分の責任である。

その時の自分の立場、周りの状況等を総合的に見て、適切な判断をしなければならない。

「フシの自覚」難しいことではあるが、いちばん大切なことだと思う。(安原)



熱中症対策...その1

八幡地区災害防止協議会の視察研修で、株式会社日新様を訪問させていただきました。



お話を伺った山本課長

当社は針葉樹をつかって住宅用の合板を作っています。工場内はとても広く、フォークリフトが行き交い、また、手作業部はあるものの、ほとんどの部署で機械のオートメーション化ははかられています。

工場内は、場所によっては窓が開放され、涼しい風がはいるところもありますが、板の乾燥機付近は高温多湿で作業環境としては厳しい場所でもあります。工場内の温度・湿度は、事務所と工場に隣接するNS木質科学研究所でリアルタイムに表示され、常時作業環境を確認できるようになっています。

- 具体的な熱中症対策として、
- ・管理者又は、安全衛生委員が 午前・午後11時に工場内を巡回して異常をチェックする。
- ・作業班ごとに毎日ツールボックスミーティングを行い、作業員の水分・塩分の摂取チェックをして体調管理をする。
- ・安全衛生教育を通し、自己管理を徹底させる。
- ・ジェットファンによるミスト扇風機の設置。
- ・各セクションにスポットクーラーの設置。

このように、常に危機感をもって、熱中症対策を行っています。(聞き手長野)



「進化する強さ」を読んで

この本を読もうとしたきっかけは、よく人から「伊達公子に似ているね」と言われ、似ている有名人というのは気になり、読んでいくうちに自分と重ねてしまい、共感できる部分がたくさんありました。

彼女は、一度は嫌いになってやめたテニスを37歳のときに再び始め、しかも前よりも進化した自分を客観的に評価しています。私自身も今、この年代になって次々といろいろなことにチャレンジして、目標を一つずつクリアしています。クリアできれば新たな目標が出来る。そしてそれが続いて進化し続ける…。この本を読んで、改めて今の自分の生き方に勇気もらった気がします。

「人に助けられ、助けることで相乗効果を生む。サポートしてもらえることに感謝しながら、それに値する存在でありたいと思います」私の思っていることを代弁してくれた一節でした。

(加島)



熱中症対策...その2 (山陰興業の場合)



夏を乗り切ろう!

【工事部】

- ・直接日光を浴びないように、テントなどで日陰を作る。
- ・現場での声掛けをして、異常をチェックする。
- ・特製レモンの砂糖漬けを食べ、糖分も摂取する。

【エネルギーサポート事業部収集係】

- 工事部と共通ですが、
- ・休憩をこまめにとる。
- ・水分・塩分を摂取する(スポーツ飲料)。
- ・梅干しを食べ、塩分を摂取する。

工事部のようにチームで作業する場合、声を掛け合いながら、他のメンバーの顔色を気にしながら作業しています。他の部署は、一人作業が多いので、時々事務所から電話して体調をうかがうなど、対応していきます。(長野)



「マタタビ」名前の由来は、疲れた時にその甘い果実を食すると「再び旅ができる」との意味があるそうです。花は6月から7月に葉の下に隠れて咲き、果実は、ネコが好むことは良く知られています。

# ECO'S 通信

2012 7月 Vol.230

## 社長が薦める今月の一冊

### 一倉定の経営心得

一倉 定著 日本経営合理化協会刊  
 「会社の真の支配者は、お客さまである。」

社員として毎月給料をもらう立場から、数人とはいえ毎月給料を支払い、社員の生活を守るという経営者の立場を突然命じられたとき、私は幸運にも経営の師匠に出会いました。その師匠から教わったことは、一つは終生師匠を持ちなさい。二つめは勉強しなさい、ということでした。その師匠は今でも私の尊敬する師匠です。

私はその時経営が判らなかつたので、勉強したいと考え、売上げがあまりない時代だったにもかかわらず、日本で一番高い勉強会へ参加させていただきました。

田舎の一年生経営者が、東京で著名な一倉定先生の、歯に衣を着せない経営の鉄則を学ばせてもらいました。その後「お客さま」を忘れた新米経営者の私に、W社のSさんを筆頭に、多くのお客さまからたくさんのお叱りの鉄拳をいただき、経営者の心得を教えてくださいました。恥ずかしい歴史ですが、お客さまに教えられるということはこのことです。

(山根)



## 蔵書新着情報

- ・元素のすべてがわかる本 山本喜一 ナツメ社
- ・面白くて眠れなくなる化学 左巻健男 PHP研究所
- ・基礎から学ぶ化学熱力学 齋藤勝裕 サイエンス・アイ新書
- ・高校の化学を復習する本 福岡智人 中経出版
- ・化学 化けるの大好き! ダン・グリーン 玉川大学出版部
- ・天地創生 こうの史代 平凡社
- ・地図でたどる古事記・日本書紀 鈴木靖民 永岡書店
- ・地図で読む「古事記」「日本書紀」 武光誠 PHP文庫
- ・しごとば東京スカイツリー 鈴木のりたけ ブロンズ新社
- ・職場うつの人々 おぐらなおみ アルファポリス
- ・和風総本家七代目豆助オフィシャルフォトブック 新紀元社
- ・禅が教えてくれる 美しい人をつくる「所作」の基本 榎野俊明 幻冬舎
- ・聞く力 阿川佐和子 文春新書
- ・手紙～親愛なる子供たちへ～ 樋口了一
- ・ディズニーそうじの神様が教えてくれたこと 鎌田洋 ソフトバンククリエイティブ

## 今月のクイズ

解答を下記編集部までお寄せ下さい。応募の方法は、ファックス、電子メール、ハガキ、営業マンに渡していただいても結構です。正解者の中から抽選で**3名様に長谷川義史原画展入場券(ペア)と絵本1冊**をセットで差し上げます。平田本陣記念館様のご厚意です。クイズの締切は7月末です。奮ってご応募下さい。

Q:「神々の国しまね」の公式マスコットキャラクターしまねっこのお家はどこにあるでしょうか?



先月号の答は、「約4万t」でした。松江市池田様が当選です。おめでとうございます。

応募用紙(答)

会社名または住所、氏名

FAX 0852-37-2472 E-mail h.nagano@e-skk.co.jp

発行日: 毎月10日  
 発行: 690-0025 島根県松江市八幡町796-20  
 TEL 0852-37-2470 FAX 0852-37-2472  
 山陰興業(株) ECO'S通信編集部 長野  
 E-mail :h.nagano@e-skk.co.jp  
 印刷: 授産センターよつば 印刷係

ホームページ公開中(<http://www.e-skk.co.jp>)

## 一斉清掃の実施

6月10日、宍道湖・中海一斉清掃が行われ、当社も4名参加させていただき、松江市役所前の湖岸のゴミ拾いや草取りを行いました。多数の参加で1時間ほどで見違えるほどきれいになりました。宍道湖湖岸は松江市民や観光客の憩いの場所です。訪れたお客様が気持ちよいひと時が過ごせるよう、これからも一斉清掃に参加していきます。

(長野)



松江市役所前、松浦様も参加され、清掃になりました。

## 編集後記

笹巻き講習会に参加した。年に1回の季節の行事である。昨年と同じ地元のご婦人から指導していただいた。今年は参加者が少なく、手取り足取りの指導で、今回は講師になれるようなところまで上達したと思う。お土産に一人10本ずついただき、ルンルン気分で帰路について。笹には抗菌作用があり、昔は保存食として作っていたそうだ。しかし、保存食といえど巻き方が素晴らしく、芸術品といえる。そんな見た目にも美しい笹巻きは後世に伝えるべき伝統技術品だと思う。

(長野)

**原稿を公募します** 本誌の原稿を公募します。800字~1000字程度で、身近な出来事をテーマにしたものを希望します。随時受け付けます。内容により不採用の場合はお許しください。編集部あて、どんどんお寄せ下さい。薄謝を差し上げます。



『感動』

## 鳥取に新拠点 その歴史的瞬間



やっと智頭にタンクが移されて、安心した。今後、廃油をタンクに一杯入れて欲しい。(藤原)

大型クレーンが30KLタンクを楽々と吊り上げ、アスファルトサンド上部に静かに下ろされ、アンカーボルト目掛けて少しずつ降下していく。皆が声を掛け合い、一寸のずれもなくタンクはアンカーボルトに収まった。

まさに歴史的瞬間で、拍手喝采である。

自社製作されたタンクは、杉の木々が林立する山々に囲まれた智頭の地で、周囲の景観に同化し、全く違和感なく受け入れられた。

今後、鳥取周辺から収集された廃油をどんどん貯めてくれる。そして、それを再生された新しい燃料を地元で使っていただくことを思いながら、今日のこの日を新たなスタートとしたい。

(長野)

タンクがぴったりあって良かった良かった! 今までの経験から、何の不安もなかったが、今までの苦労が吹っ飛んだ瞬間だ。手作りした治具も計算通りでピッタリあった。短い配管は、出雲工場である程度作っていたので、施工もスムーズにでき、消防検査も一発でOKが出た。1基では足りないくらいに廃油がたくさん貯まるといいな!! (鎌田)



## 本を読むことの大切さ

・周りから、お客さまから素晴らしいといわれる社員と会社になる・

社長 山根久志

毎月一冊の本を読んで感想文を提出することが、私たちの会社の重要な社員教育の一つです。7年以上続けている社員は、少なくとも90冊は読んだこととなります。

5月社員が読んだ本のテーマは、人の生き方、歴史などレベルが高く、実に多岐にわたっている。その上著者は、中村天風、鍵山秀三郎、柳澤桂子、稲盛和夫などトップレベルの思想家であることにも、自社のことながら社員の読書力と継続力に感心します。その内の2冊を紹介します。

「ひとつ拾えば、ひとつだけきれいになる」鍵山秀三郎著

この本は10年以上も前、業績が思うようにいかなかった時に、私自身がむさぼるように読んだ記憶があります。「掃除をしていると気づく人になれる」を信じ、その時から私も掃除を始めました。

藤原拓也君は、新卒で入社以来、毎朝自分から率先して玄関の掃除をしてくれている。その彼がこの本を改めて読んで、鍵山さんが提唱する掃除の功德。1.自分の心が清められる。2.他人の心まで清める。3.周囲が活き活きしてくる。そんなことを自分も感じているに違いない。

「人間ってなんだろう」柳澤桂子 文 朝倉まり 絵

生命科学者である柳澤氏は、自らが不治の病に犯され、自らの命の不条理と戦いながら、命の大切さを説いている希有（けう\*）な存在です。

この本は、お母さんが命の大切さを子供にやさしく説いた本です。3億匹の精子のたった一匹が、一つの卵子と受精して初めて一人の人が生まれる。残りの精子は競争に負けて死んでいくのです。（\*非常に珍しいこと）

「自分の仕事がどんなに小さくても、社会の役に立っていることは、本当にうれしいことです。（P57）」この貴重な本を選んだ木村天君は、自分自身と自分の仕事に自信と誇りを持ち、もっと社会の役に立ってくれます。次は、名著「癒されて生きる」を読んで欲しい。

このように私たちは読書という良い習慣を持っています。今期の基本方針「私たちの良いところ、自分が得意なことをもっと伸ばそう」にしたがいがい、本を読むことをもっと幅広く、もっと掘り下げて欲しい。

尊敬するユニチャームの高原会長は、次のように訴えています。「本を読むとき、私たちの精神は活発に動き出す。読書の習慣をつけよう。心の井戸を掘り下げよう。」と。

### 私はこう考え、こう実行します

【安原】沢山の本を読むことと1冊の本を何回も読むことを継続する。

【松下】本を読むことで、様々な考え方を学び、仕事上にかかす。

【河上】自分が読みたい本を読む。

【岸本】毎月一冊以上は本を読むことを今後もずっと継続します。

【福間】毎日15分は本を読む時間を作る。

【木村】人間ってなんだろうと考えてみる。

【吾郷】どんどん本を読んで自分の知識を増やします。

【大國】もっとまじめにもっと真剣に本を読み、感想文を書く。

【木村憲】本を読む。

【石橋】本を読み、仕事に生かせる事を見つけない。

【榎並】自分が得意なことをもっと伸ばせる様、本を読む時間を増やします。

【岡田】毎月一冊の読書を続けます。

【山口】私は読書が好きです。一生読み続けます。

【松本】毎日、たくさんの本を読み自分自身を磨きます。

【横地】読んだ本の中で、自分自身を高めるために出来る事の一つ目標にし、実践します。

【植尾】時間を作り、読む本を多くしていきたい。

【高橋】私は自分の仕事を理解し、定期的に、確認します。

【長谷川】自分の得意なことをもっと伸ばします。

【恩村】もっと色々な本を読んでいます。

【小村】本を読み知識を深め、実際の作業をこなす事で経験を積み一人前の社員となる。

【藤原拓】毎朝きれいな玄関であるよう掃除を頑張ります。

【藤原大】もっと次の行動を読み、作業を行います。

【金森】得意なことを見つけ、伸ばします。

【加島】目配り、気配りの出来る人になるために努力します。

【中村】今後も毎月、本を読んで感想文を提出します。特に心に響く本を読んでいきたい。

【清水】私は、色々な本を読み勉強したいと思います。

【足立】私は自分の興味のある分野の本ばかりでなく、様々な分野の本を読み見聞を広げます。

【長谷川真】読書を通じ豊かな心を養っていききたいと思います。

【長野】いろいろなジャンルの本を読み、情報量を増やす。



斐川町、荒神谷遺跡のハスの花。  
（加島社員提供）

# 事業発展計画発表会…私たちの良いところ、自分が得意なことをもっと伸ばそう！



今期の発表をする  
山根社長



祝辞をいただいた  
的場理事長



今期計画を発表する安原常務

6月17日、玉造グランドホテル長生閣において、第40期事業発展計画発表会が開催されました。

山根社長は、「WE LOVEとっとり計画が智頭の地からスタートしました。智頭は美しい山々に囲まれ、私たちを温かく迎えてくれます。この地域の貴重な資源である使用済み潤滑油を、一滴も残すことなく収集し、新しい燃料に精製し、この地域で使っていただき、お客様のお役に立つことが目的です。それを早く実現させるため、私たちは力を合わせていきます。」と決意を表明しました。

島根中央信用金庫 的場理事長からは次のようなお祝いのお言葉をいただきました。「昨今の状況は円高で、中小企業は苦勞が多い。こんな中、山陰興業は、事業発展計画を発表され、全社一丸となって邁進される。素晴らしい経営だ。」

その結果、前年を上回る売上、社員の会社に対する愛情と尽力に敬意を表します。PDCAのサイクルがうまく機能している。今後も実りある有意義な発表になるよう祈念します。」



日本経営合理化協会常務理事 作間様からは、「地域でオンリーワンをめざす経営」と題して、基調講演をいただきました。



私たちの会社の発展のためにがんばってくれた社員の表彰が行われました。

## 永年勤続表彰



写真右より木村憲  
社員、福間課長、  
岡田社員

20年勤続の木村社員…お客様に喜んでいただけるSオイルをお届けしたい。

10年勤続の福間課長…産廃のプロとして、お客様のお役に立ちたい。

10年勤続の岡田社員…これからは後輩の指導にも注力したい。

## 社長賞表彰



写真左より、木村リーダー、金森社員、木村社員、石橋社員、恩村社員、榎並社員、岡田社員、植尾社員

植尾社員…地下タンクFRPライニング技術の習得と若手育成

岡田社員…ドリームカー導入によるコスト削減、CO2排出量・燃料費の削減

榎並社員…顧客管理システムの構築により、3ヶ月先までの施工管理実現

恩村社員…SANシステムの精度向上と運用拡大

鎌田社員…屋外タンク自社製作と藤原社員の育成

木村リーダー・木村憲社員…二人三脚でSオイルの製造目標達成、災害ゼロ

石橋社員…処理売上前年比105%達成

金森社員…4ヶ月連続収集量90KLオーバー達成

## 協力賞表彰



協力賞を受賞した皆さん。左より、足立・吾郷・恩村・小村・長谷川社員